

YMS 2019年度 解答速報

杏林大学医学部 後期



【英語（解答）】

I (ア) ③ (イ) ① (ウ) ④ (エ) ② (オ) ③ (カ) ① (キ) ④ (ク) ④
(ケ) ② (コ) ③ (サ) ② (シ) ① (ス) ④ (セ) ① (ソ) ③

II (ア) ④ (イ) ① (ウ) ③ (エ) ② (オ) ③

III (ア) ② (イ) ④ (ウ) ③ (エ) ② (オ) ① (カ) ③ (キ) ③ (ク) ①
(ケ) ② (コ) ①

【修正例】

- (ア) Hirosaki₁ which....
- (イ) know of [about] him
- (ウ) in beautifully with....
- (エ) another language [other languages]
- (オ) Even though [if] ...
- (カ) a standing capacity
- (キ) the psychologists
- (ク) perfectly
- (ケ) that
- (コ) a

IV (ア) ③ (イ) ④ (ウ) ① (エ) ① (オ) ④ (カ) ② (キ) ③ (ク) ③
(ケ) ① (コ) ③

V (サ) ① (シ) ④ (ス) ② (セ) ④ (ソ) ③ (タ) ④ (チ) ④ (ツ) ③
(テ) ③ (ト) ①

【英語（講評）】

2019年前期と同じ出題形式で、文法、会話、誤り指摘、長文の大問4問構成であった。前期と同じく分量が多く、60分で完答するためには確実に解ける問題を先に最後まで解いていくなどの解答戦略が必要であると考え。比較的標準レベルの文法問題をできるだけ早く処理し、長文にできるだけ時間を充てるべきである。それでも、長文は英文1の内容が少々読みにくく設問の選択肢にも迷うものもあるわけだが、英文2は、本文の語彙レベルに比べ単純明快な設問が少なくなかった。最後の問題だから手が回らなかったという事態は避けたい。